

証券コード 7594

2018年11月期

決算説明会

2019年1月22日

日米中亞4極体制

グローバルバージョンII

新たな幕開け

変革の刻

ASIA

CHINA

the Americas

JAPAN

MARUKA

目次

1.	2018年11月期 決算の概要		
	① 2018年11月期 決算	4
	② 産業機械部門の業績	13
	③ 建設機械部門の業績	18
2.	2019年11月期 業績予想及び営業戦略		
	① 2019年11月期 業績予想	22
	② 営業戦略(産業機械・グローバル機材部門)	24
	③ 営業戦略(建設機械部門)	27
	④ トピックス	29
3.	中期経営計画の修正	35
4.	株主還元	38
	(補足資料)		
	会社の概要	40

2018年11月期 決算の概要

(2017年12月1日～2018年11月30日)

18/11期 決算の要点

売上高は前期比23.2%増の645億円、営業利益は同37.8%増の26億円、経常利益は同36.0%増の28億円、当期純利益は同55.6%増の19億円となり、いずれも過去最高記録を更新

産業機械部門は、自動車業界向けの販売が好調で前期比28.7%の増収
建設機械部門は、下期にやや苦戦し2.2%の減収

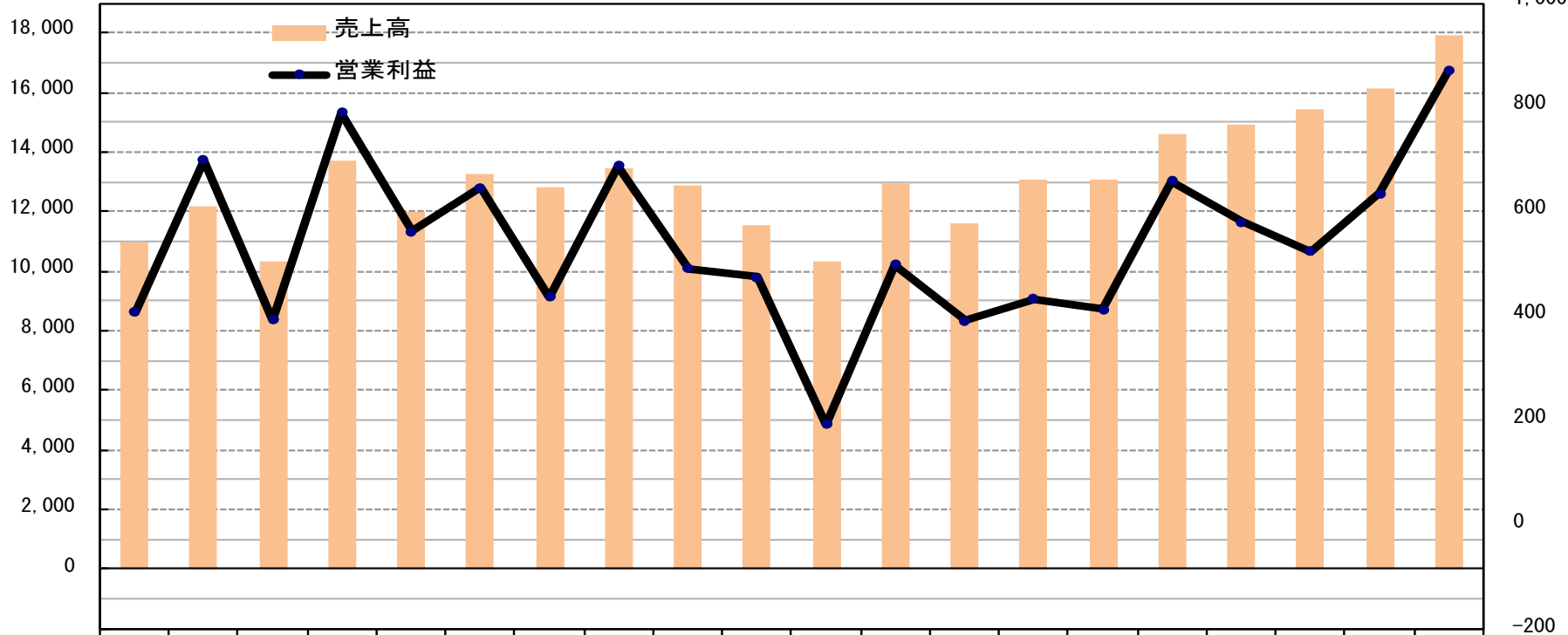
国内売上高は主力商品の販売が伸長し、前期比55.6%増の358億円
海外売上高は前期比10.7%増(海外売上高比率44.4%に低下)

米国は工作機械や射出成形機の販売が底堅く推移
中国及びアジアは、苦戦した地域はあるが全体的には好調に推移

四半期業績の推移

売上高: 百万円

営業利益: 百万円
1,000



	14/111Q	14/112Q	14/113Q	14/114Q	15/111Q	15/112Q	15/113Q	15/114Q	16/111Q	16/112Q	16/113Q	16/114Q	17/111Q	17/112Q	17/113Q	17/114Q	18/111Q	18/112Q	18/113Q	18/114Q
売上高	10,998	12,175	10,357	13,726	11,999	13,300	12,824	13,469	12,905	11,535	10,310	12,957	11,597	13,071	13,084	14,611	14,915	15,469	16,164	17,963
営業利益	408	699	392	790	562	647	436	688	491	474	192	499	390	433	413	658	580	523	636	871

単位: 百万円

	14/11期		15/11期		16/11期		17/11期		18/11期	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
売上高	23,173	24,083	25,299	26,293	24,441	23,266	24,668	27,694	30,384	34,127
営業利益	1,107	1,182	1,209	1,124	965	691	823	1,071	1,103	1,507

18/11期 決算の概要

■ ほぼ修正計画通りとなり、二期連続の増収増益

■ 売上高、営業利益、経常利益のいずれも上場来最高記録を更新

単位：百万円

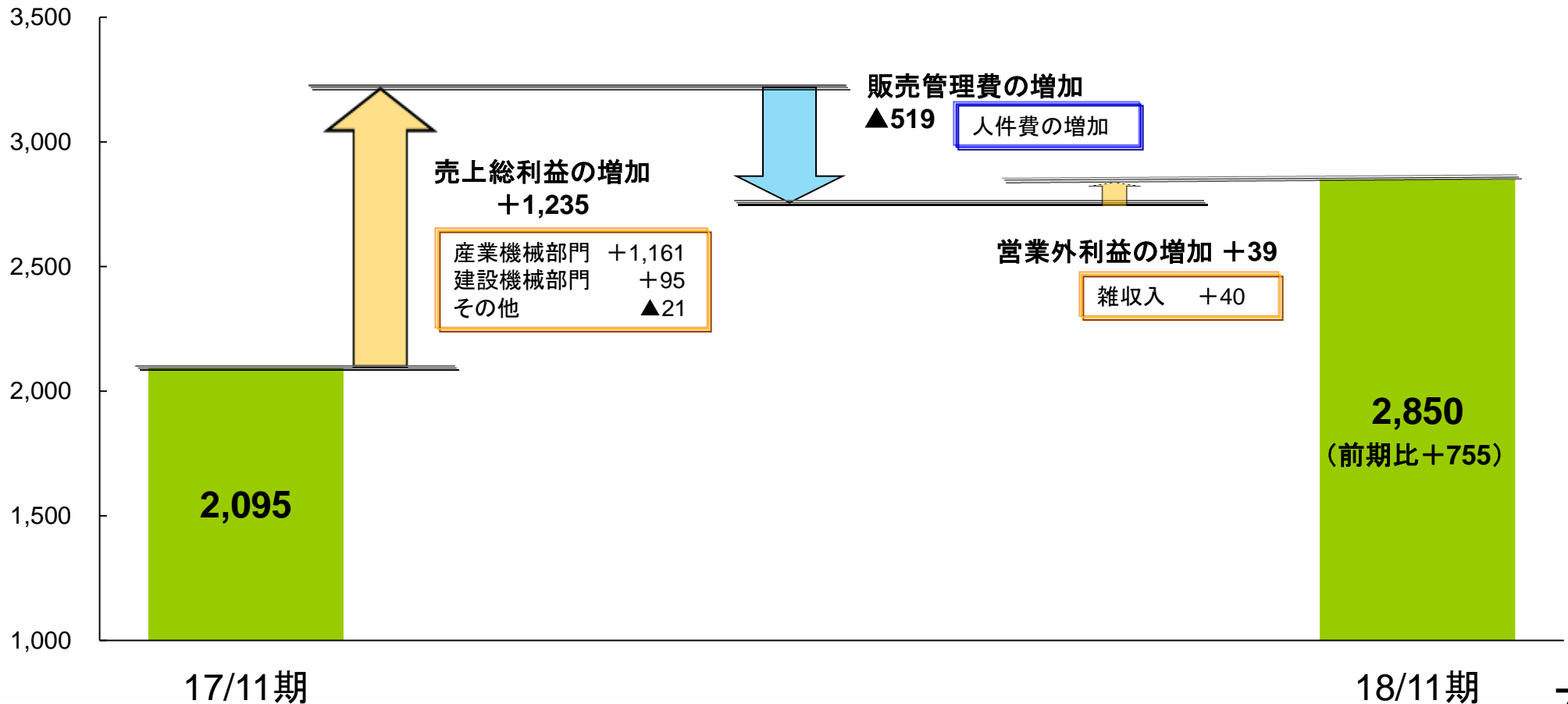
	17/11期		18/11期		前期比 (%)	修正計画 (11/20)	同計画比 (%)
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)			
売上高	52,363	100.0	64,511	100.0	23.2	64,000	0.8
産業機械	43,231	82.6	55,617	86.2	28.7	54,930	1.3
内、グローバル機材	8,720	16.7	9,422	14.6	8.0	9,500	△ 0.9
建設機械	9,026	17.2	8,825	13.7	△ 2.2	9,000	△ 1.9
その他	106	0.2	68	0.1	△ 35.5	70	△ 2.2
売上総利益	7,579	14.5	8,829	13.7	16.4	8,700	1.5
販売管理費	5,682	10.9	6,202	9.6	9.1	6,200	0.0
営業利益	1,894	3.6	2,610	4.0	37.8	2,500	4.4
経常利益	2,095	4.0	2,850	4.4	36.0	2,800	1.8
親会社株主に帰属する当期純利益	1,235	2.4	1,922	3.0	55.6	1,900	1.2
1株当たり当期純利益	144.31円	—	227.64円	—	36.2	224.71円	—
ROE	6.6%	—	9.7%	—	3.1pt	—	—
ROA	3.1%	—	4.2%	—	0.7pt	—	—
人員	596人	—	627人	—	+31人	—	—

注) 人員の増加は、北九金属工業(株)の子会社化による増加及び産業機械部門における営業人員増員

経常利益変動要因

- 売上総利益は、産業機械部門の貢献で大幅増
- 人件費等の増加により、販売管理費が増加

(単位:百万円)



販売管理費の内訳

主な増加要因は、人員増及び従業員向け株式給付制度の導入による人件費の増加

単位：百万円

	17/11期	18/11期	増減額	主な要因
人件費	3,272	3,649	377	人員増、従業員向け株式給付の導入
旅費・交通費	607	660	53	営業活動費増加
営繕・備品費	98	89	△ 8	
租税公課	154	139	△ 14	
減価償却費	109	126	17	新社屋償却費
その他	1,441	1,536	90	展示会費用等販促費の増加 倉庫賃貸料等支払家賃の増加
合計	5,682	6,202	519	

18/11期末 連結貸借対照表

取引高の増加に伴い、売上債権・仕入債務が増加
有利子負債は、子会社(マルカアメリカ、マルカ上海、管製作所)の借入金が増加

単位:百万円

資産			
	17/11末	18/11末	備考
現金預金	8,168	10,205	
売上債権	18,224	22,649	売掛金 3,266 電子記録債権 697
その他流動資産	6,434	7,639	前払金 1,649
有形固定資産	6,505	6,397	
無形固定資産	435	335	
その他固定資産	1,763	1,943	
総資産	41,531	49,174	

負債			
	17/11末	18/11末	備考
仕入債務	16,800	22,354	電子記録債務 4,633 買掛金 832
短期有利子負債	674	436	マルカアメリカ マルカ上海借入金
その他流動負債	3,209	4,560	
長期有利子負債	327	297	管製作所借入金
その他固定負債	657	451	
負債	21,670	28,100	
純資産	19,861	21,073	剰余金の配当(△369百万円)、当期純利益の計上(1,922百万円)

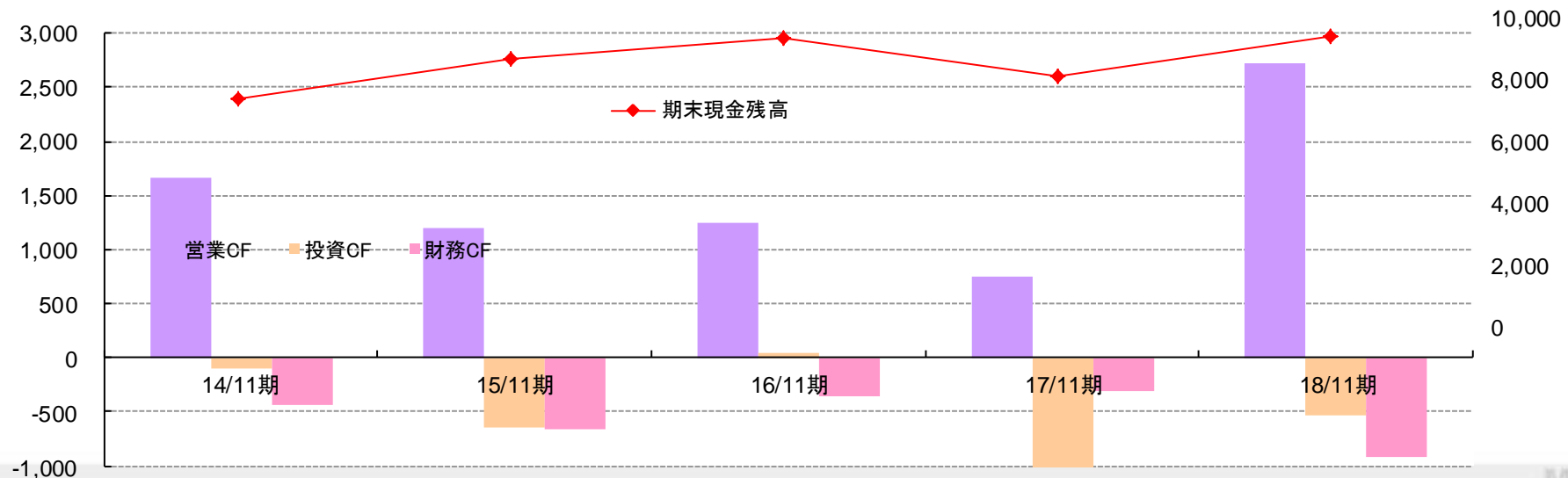
連結キャッシュフローの推移

単位:百万円

	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期
営業活動によるCF	1,662	1,206	1,246	743	2,727
投資活動によるCF	△108	△647	46	△1,671	△529
フリーCF	1,554	559	1,292	△928	2,198
財務活動によるCF	△446	△662	△356	△316	△921
期末現金残高	8,680	8,723	9,398	8,144	9,424
設備投資額	297	570	840	2,261	702
減価償却費	258	210	252	309	325

CF(単位:百万円)

期末現金残高(単位:百万円)



連結子会社の業績

国内はマルカ単体、子会社とも好調

海外は一部の拠点は苦戦したものの全般的に好調

単位:百万円

	売上高		営業利益		経常利益	
	17/11期	18/11期	17/11期	18/11期	17/11期	18/11期
連結	52,363	64,511	1,894	2,610	2,095	2,850
単体	35,482	43,752	1,289	1,827	1,621	2,165
国内子会社	3,565	4,875	258	297	292	342
海外子会社	19,734	21,685	314	425	320	429
連結消去	△ 6,418	△ 5,801	31	61	△ 138	△ 86

単位:百万円

売上高の推移



売上高の前期対比

マルカキカイ単体	国内子会社	米州子会社	アジア子会社
➡	➡	➡	➡

■ 本体 ■ 国内子会社
■ 米州子会社 ■ アジア子会社

産業機械部門



産業機械部門売上高推移(連結)

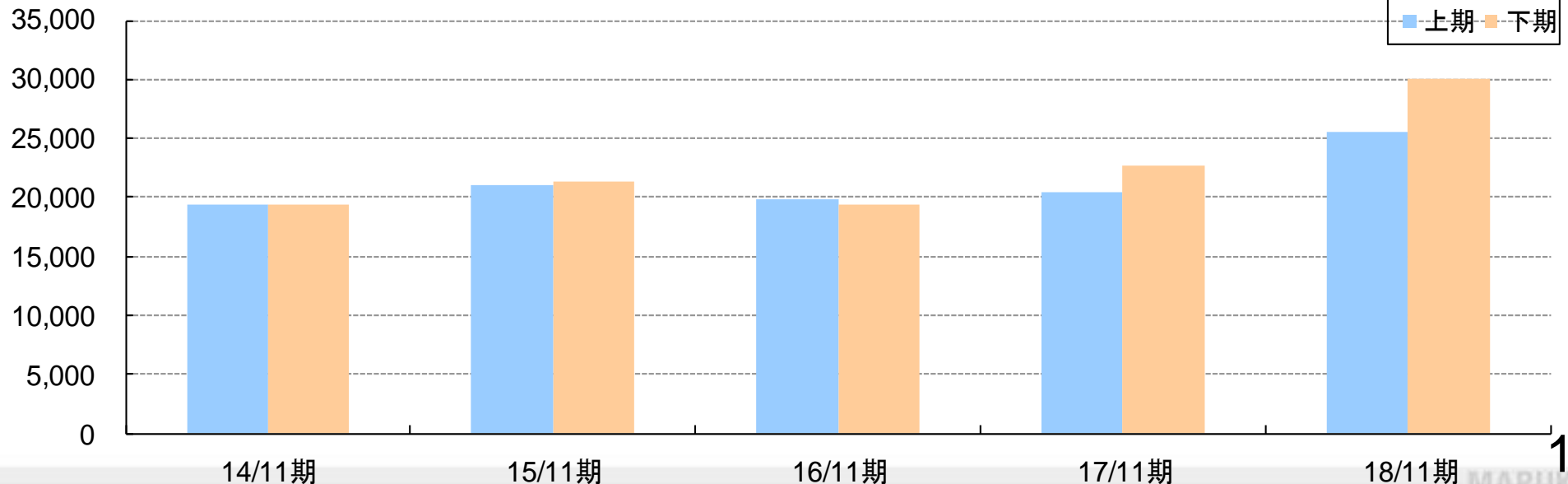


下期に更に増収基調が強まり、上場来最高の水準

単位:百万円

	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期	前期比(%)
上期	19,460	21,104	19,824	20,483	25,577	24.9
下期	19,384	21,379	19,378	22,748	30,040	32.1
合計	38,844	42,483	39,202	43,231	55,617	28.7

単位:百万円



産業機械部門 — 商品別売上高

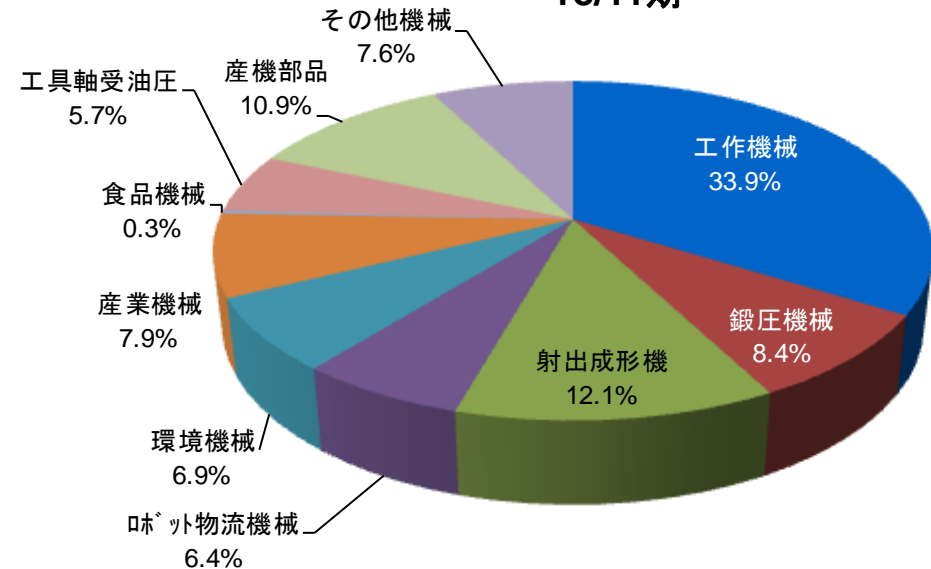
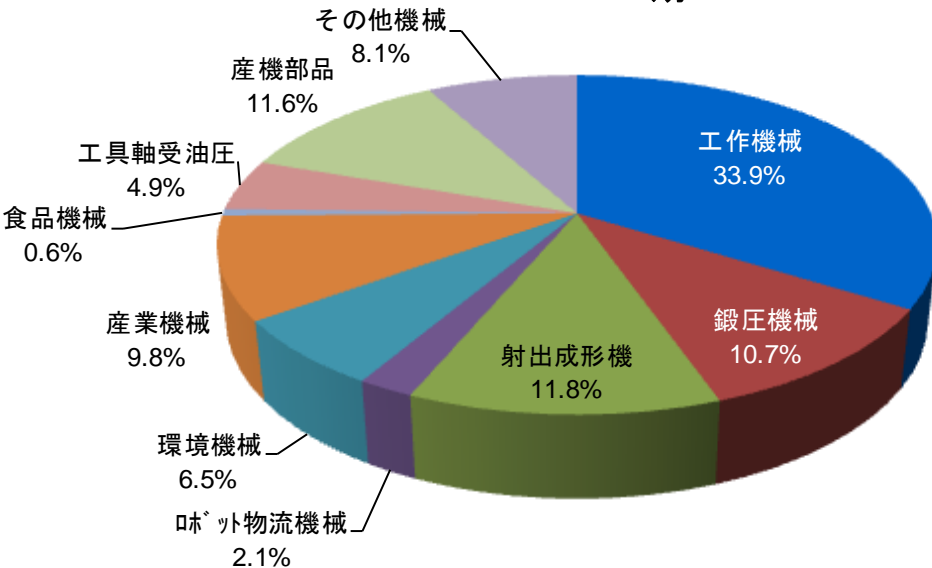
主力の工作機械をはじめ、射出成型機、環境機械、工具軸受関係も二桁増収
ロボット・物流機械は大幅増

単位：百万円

	産業機械計										
	工作機械	鍛圧機械	射出成型機	ロボット 物流機械	環境機械	産業機械	食品機械	工具軸受 油圧	産機部品	その他 機械	
17/11期	43,231	4,633	5,093	924	2,805	4,223	278	2,122	5,005	3,497	
18/11期	55,617	4,685	6,735	3,533	3,859	4,378	159	3,149	6,048	4,228	
前期比(%)	28.7	1.1	32.2	282.1	37.6	3.7	△ 42.5	48.4	20.8	20.9	

17/11期

18/11期



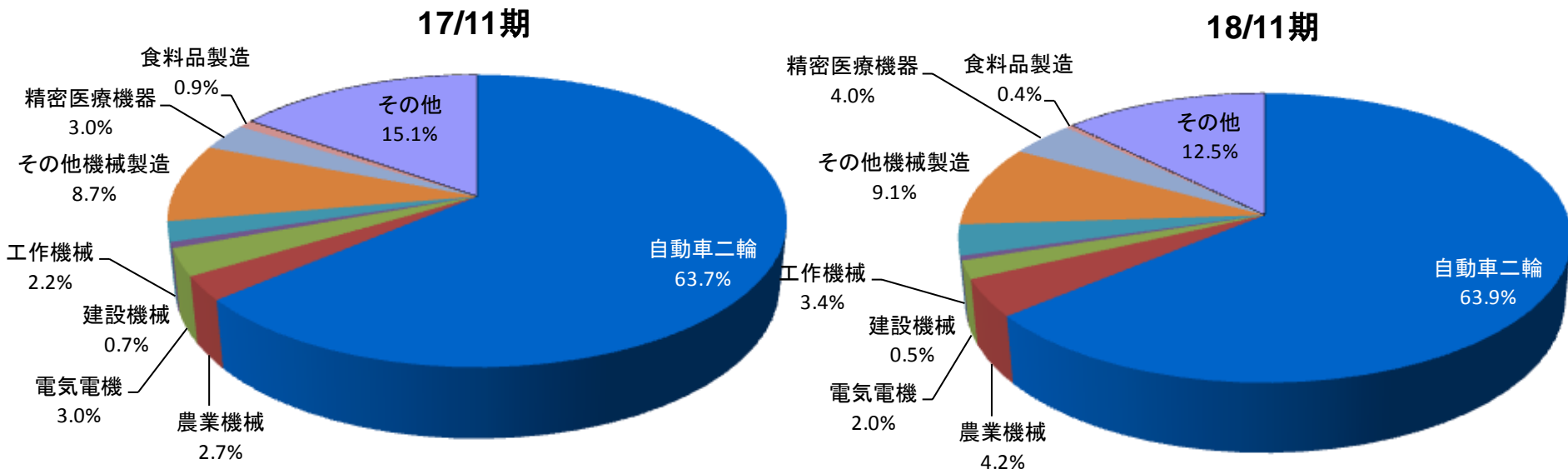
※ グラフ内「%」は産業機械部門の売上高に対する比率

産業機械部門 — 業界別売上高

自動車業界向けが好調。工作機械製業界や農業機械業界向けが大幅増加

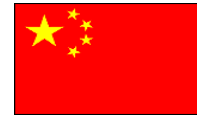
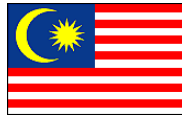
単位:百万円

産業機械計										
		自動車 二輪	農業機械	電気電機	建設機械	工作機械	その他 機械製造	精密医療 機器	食料品 製造	その他
17/11期	43,231	27,554	1,151	1,305	284	950	3,751	1,305	392	6,534
18/11期	55,617	35,521	2,321	1,113	277	1,905	5,075	2,206	231	6,967
前期比(%)	28.7	28.9	101.6	△ 14.8	△ 2.5	100.5	35.3	68.9	△ 41.2	6.6

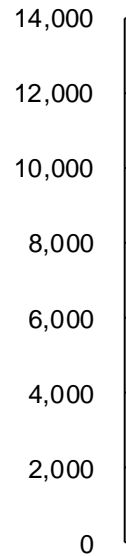


※ グラフ内「%」は産業機械部門の売上高に対する比率

産業機械部門 — 地域別海外売上高



単位:百万円



17/11期
18/11期

インド

タイ

マレーシア

フィリピン

インドネシア

ベトナム

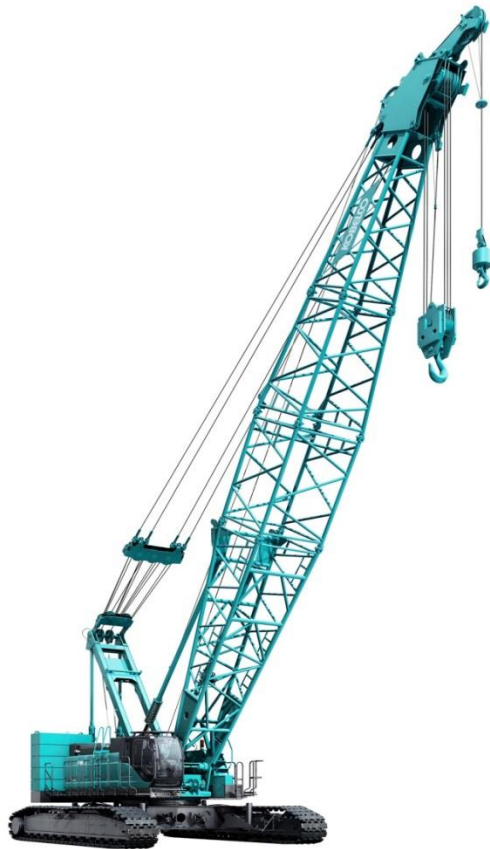
中国

米州

単位:百万円

拠点	インド	タイ	マレーシア	フィリピン	インドネシア	ベトナム	中国	米州	その他	海外計
17/11期	730	2,770	5,403	406	1,900	833	2,829	10,916	17	25,808
18/11期	442	2,093	6,538	1,034	1,368	1,142	3,909	11,978	128	28,634
前期比(%)	△ 39.4	△ 24.5	21.0	154.2	△ 28.0	37.0	38.2	9.7	636.4	10.9

建設機械部門



建設機械部門売上高推移

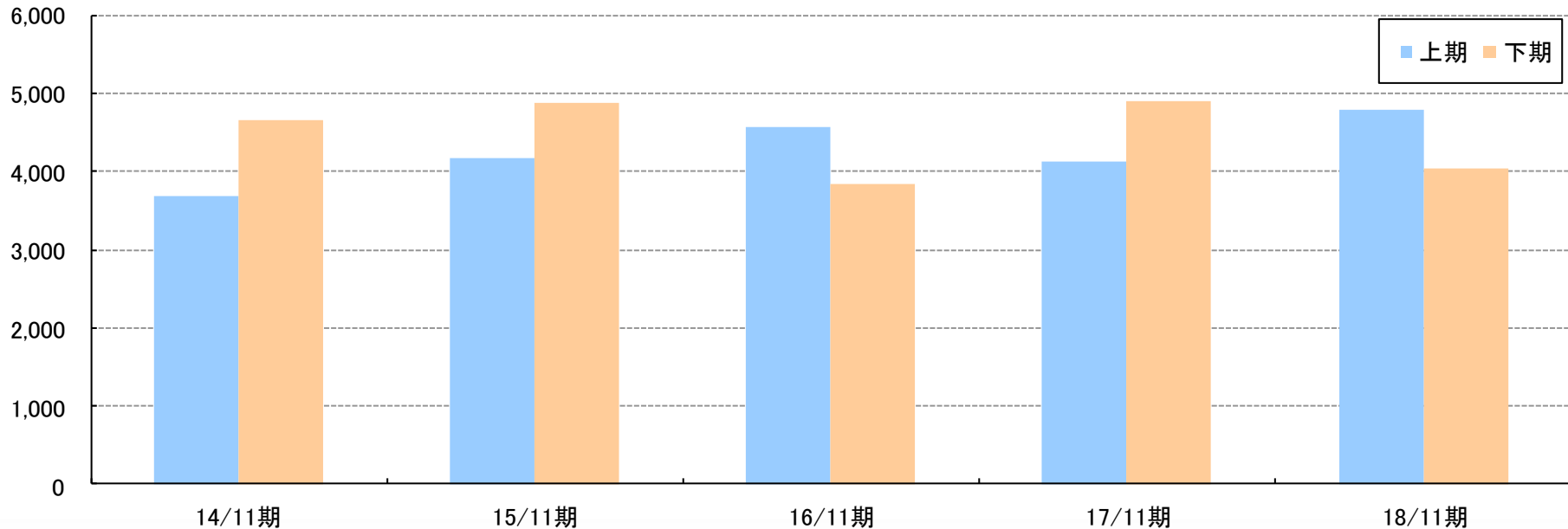


上期は16/11期を上回る水準も、下期は苦戦

単位:百万円

	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期	前期比
上期	3,689	4,165	4,573	4,124	4,778	15.9
下期	4,666	4,878	3,829	4,902	4,047	△ 17.4
合計	8,355	9,043	8,403	9,026	8,825	△ 2.2

単位:百万円



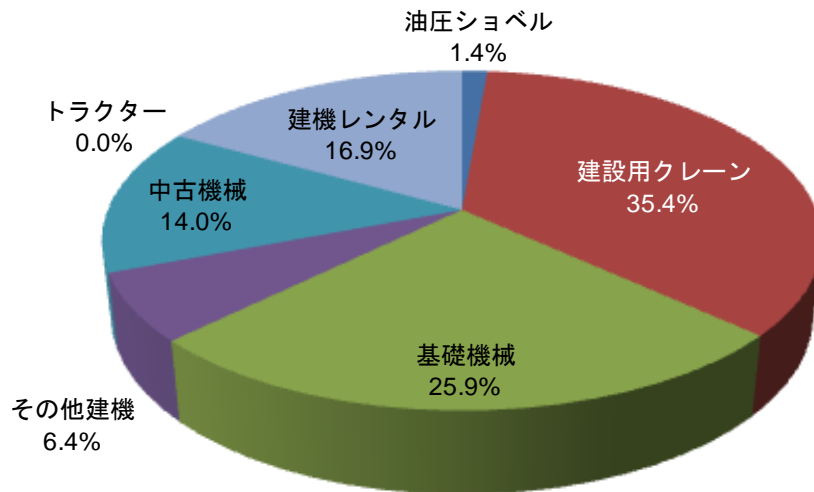
建設機械部門 — 商品別売上高

主力の建設用クレーンは増加も、基礎機械が大幅減少。レンタルは堅調

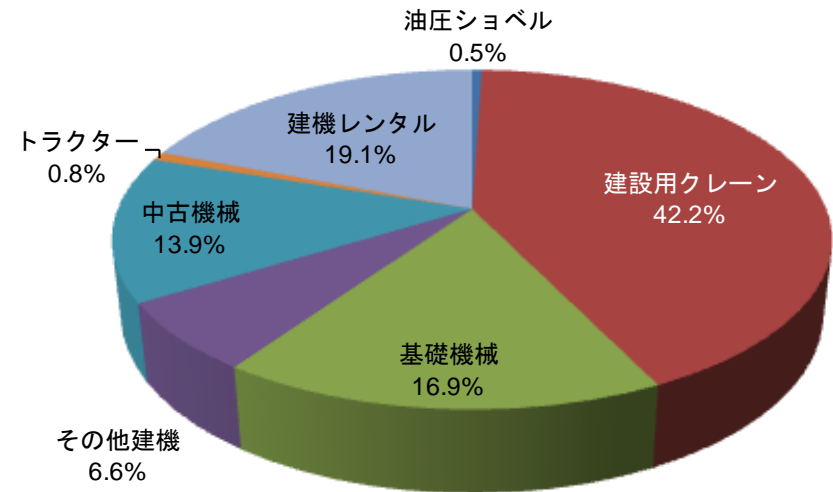
単位：百万円

	建設機械計							
	油圧ショベル	建設用クレーン	基礎機械	その他建機	中古機械	トラクター	建機レンタル	
17/11期	9,026	122	3,195	2,341	581	1,262	-	1,522
18/11期	8,825	47	3,725	1,493	581	1,222	72	1,683
前期比(%)	△ 2.2	△ 61.4	16.6	△ 36.2	0.0	△ 3.2	-	10.6

17/11期



18/11期



※ グラフ内「%」は建設機械部門の売上高に対する比率

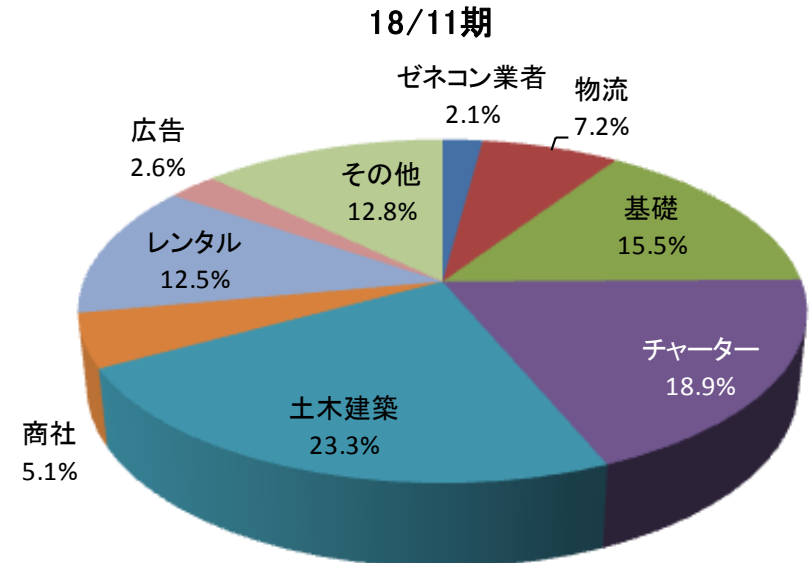
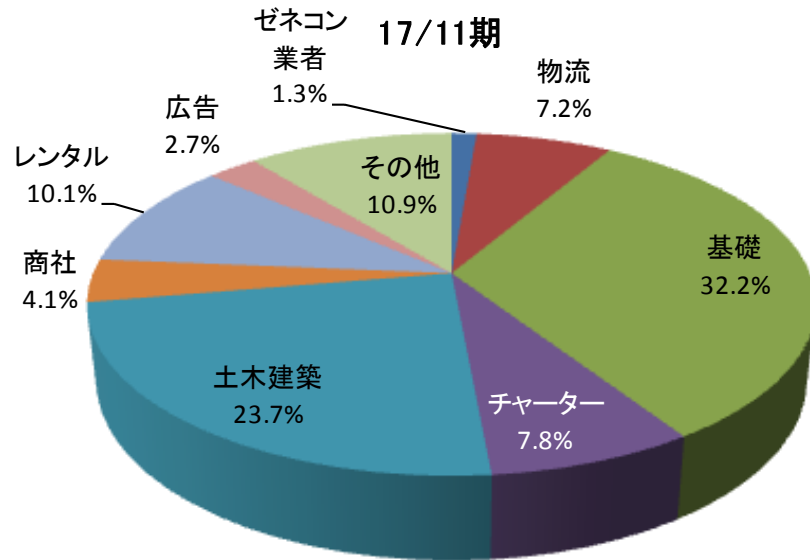
建設機械部門 — 業界別売上高

チャーター業界向けが大幅増

単位:百万円

	建設機械計									
		ゼネコン 業者	物流	基礎	チャーター ※	土木 建築	商社 (輸出)	社 レンタル	広告	その他
17/11期	9,026	115	624	2,795	676	2,060	352	878	230	1,290
18/11期	8,825	185	636	1,367	1,667	2,058	446	1,104	229	1,129
前期比(%)	△ 2.2	60.3	1.9	△ 51.1	146.4	△ 0.1	26.8	25.6	△ 0.3	△ 12.5

※チャーター＝オペレーター付きで、クレーンの吊上げ作業等を請け負う工事業者



※ グラフ内「%」は建設機械部門の売上高に対する比率

2019年11月期
(2018年12月1日～2019年11月30日)
業績予想及び営業戦略

19/11期業績予想

中期経営計画3年目。更なる飛躍を目指す

単位：百万円

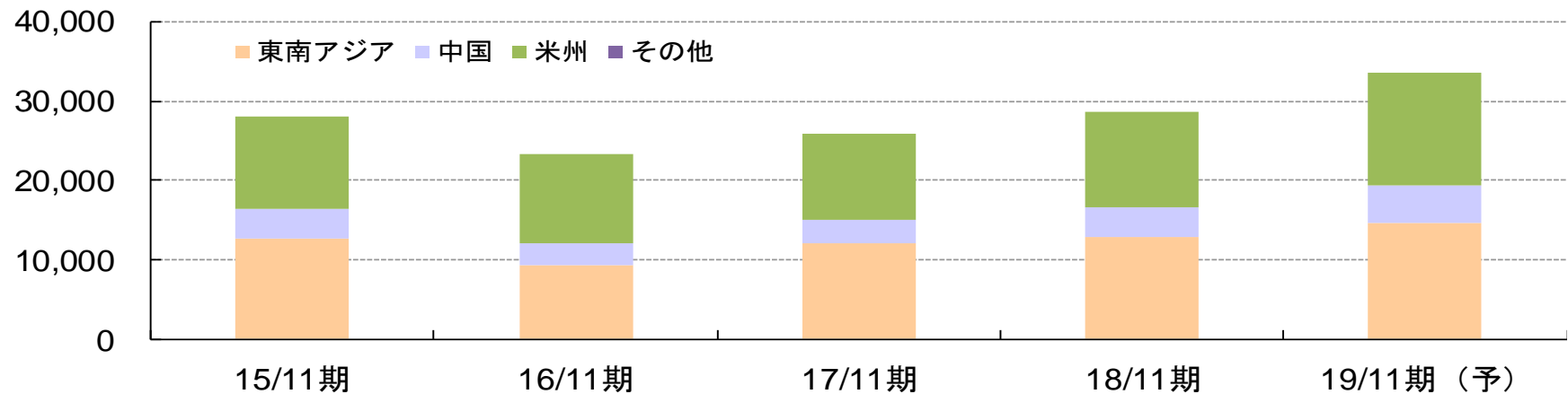
	18/11期	19/11期予想			前期比 (%)
		上期	下期	通期	
売上高	64,511	32,000	35,000	67,000	3.9
産業機械	55,617	27,694	30,466	58,160	4.6
内、グローバル機材	9,422	4,700	5,200	9,900	5.1
建設機械	8,825	4,274	4,486	8,760	▲ 0.7
その他	68	32	48	80	17.6
売上総利益	8,829	4,400	4,900	9,300	5.3
販売管理費	6,202	3,200	3,400	6,600	6.4
営業利益	2,610	1,200	1,500	2,700	3.4
経常利益	2,850	1,300	1,600	2,900	1.7
親会社に帰属する当期純利益	1,922	1,600	1,100	2,700	40.5
1株当たり当期純利益	227.64円	190.16円	130.73円	320.89円	—
期末(想定)為替レート米ドル/円	113円49銭	—	—	107円00銭	—
1株当たり配当金	45円	22円	25円	47円	—

海外売上高の推移

単位:百万円

	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期	19/11期予想
米州	11,528	11,279	10,916	11,978	14,200
中国	3,806	2,680	2,840	3,909	4,600
東南アジア(含むインド)	12,680	9,393	12,153	12,771	14,700
その他	276	4	0	15	0
海外売上合計	28,292	23,357	25,910	28,674	33,500
海外売上高比率(%)	54.8	49.0	49.5	44.4	50.0
期末為替レート	122円82銭	112円42銭	112円07銭	113円49銭	107円00銭

単位:百万円



19/11期の営業戦略(産業機械・グローバル機材部門)

～米 州～

【事業環境】

金利上昇や貿易摩擦の影響で減速感が高まると予想

▽北米における工作機械販売テリトリーの拡大

- ・前期の北米における工作機械の売上高は、自動車業界を中心に38億円(前期比67%増)

▽ITI社、管製作所製品とのシナジーの更なる強化

- ・ITI社製品は、MM部門とのシナジー効果による自動化関連売上が増加し、前期の売上高は8.2億円。今期は更に自動化システム対応を強化し、売上高10億円を目指す
- ・管製作所製品については、シンシナティにNC洗浄機を常設し、販売拡大を図る。

▽北米市場における電動射出成形機の大型機、堅型機の販売強化

- ・前期北米電動機シェア7.2%
- ・前期販売台数は145台の実績、今期目標160台

▽ Fu-Chun-Shin製(台湾射出成形機メーカー)製油圧式プラスチック成形機の販売強化

販売台数/台	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期	19/11期 予想
FCS成形機	15	9	21	25	40

▽メキシコ市場における日系マーケット深耕、非日系ユーザーへの拡販

19/11期の営業戦略(産業機械・グローバル機材部門)

～東南アジア～

【事業環境】

景気底打ちによる設備需要増加の期待はあるものの、米中貿易摩擦の影響で先行き不透明感が強まると予想

重点商品、MM会商品、食品機械の拡販。部品・サービス販売の一層の拡大
 (注力業界・商品)

- タイ・マレーシア = 重点商品、部品・サービス売上の拡販
 食品業界向けの実績を伸ばし、自動車業界に次ぐ第二第三の柱を構築
- インドネシア = 自動車二輪業界への拡販。農機、エアコン業界の攻略
- ベトナム = 三拠点体制(ハノイ、ホーチミン、ハイフォン)により、更なる受注拡大を図る
- フィリピン = 主力商品(射出成型機、プレス)の営業展開に注力。部品・サービス売上也伸ばす
- インド = 日系有力ユーザーの開拓と掘り下げ

～中国～

【事業環境】

中国市場は貿易摩擦の影響で輸出関連は減速感が強まるも、国内市場は堅調と予想。

- ▽重点商品(東洋機械金属製品、コマツ産機製品)、省力化・自動化装置、MM会商品の拡販
- ▽中国地場系完成車メーカー及び日系自動車部品メーカーとの取引拡大
- ▽中国製機械の取扱拡大

売上高/億円	11/11期	12/11期	13/11期	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期	19/11期 予想
中国製機械	9.0	13.0	18.0	16.0	13.3	10.4	8.3	8.3	10.0
台湾製機械	7.3	6.8	8.3	8.0	4.4	2.1	3.9	0.8	2.0

19/11期の営業戦略(産業機械・グローバル機材部門)

～目 本～

【事業環境】

世界的な景気減速懸念の影響で設備投資が減少、工作機械の受注は下振れすると予想

▽さらなる海外売上高の増加を目指した大手製造会社向け海外進出のバックアップ

・前期の海外売上高は286億円で、前期比10.7%増(海外売上高比率は44.4%)

▽部品・消耗品・サービス売上のさらなる拡大

売上高/億円	11/11期	12/11期	13/11期	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期	19/11期予想
部品・修理 消耗品	67	85	93	100	146	131	137	178	190

▽重点商品の射出成形機(東洋機械金属)、鍛圧板金機械(コマツ産機)の拡販

・前期の国内取引実績は、射出成形機(東洋機械金属)は55台増、鍛圧板金機械(コマツ産機)は58台

今期は前期以上の販売を目指す

▽ロボットの更なる販売強化

・前期のロボットシステムの国内取引実績は303台。今期は270台を目指す

▽MM会商品の取扱いをさらに拡大(前期は新たに3社が加入)

取扱い高/億円	11/11期	12/11期	13/11期	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期	19/11期 予想
MM会商品	15億	33	36	43	39	35	34	53	60

▽新市場、成長分野への取り組み

・食品MM会(11社)を立ち上げ、食品機械の取引拡大を図る

・EV関連市場への進出。今期は18億円の売上を目指す

19/11期の営業戦略(建設機械部門)

～目 本～

【事業環境】

建築工事は政府建設投資を中心に底堅いと予想

▽コンクリートポンプ車の全国展開及び安定販売台数の確保

- ・前期の販売実績は、関西、関東、九州で計27台、5億円の売上高
- ・今期は新車・中古合わせ30台を目指す

▽輸入建設機械商品の拡販

商品	今期目標台数
イタリアMagni社のテレハンドラー	3台
韓国現代製ホイールショベル	1台
フィンランドKALMAR社のリーチスタッカー	2台
ドイツERAKAT社の岩石掘削機アタッチメント	10台
ドイツKEMROC社の切削機アタッチメント	10台

▽レンタル事業の安定化

- ・主力のクローラークレーンの稼働率の安定化
- ・大型高所作業車の市場基盤の確立(知名度UP、他社との差別化)

主な輸入建設機械商品



MAGNI社のテレハンドラー

KALMAR社のリーチスタッカー



HYUNDAI社のホイールショベル



ERKAT社の掘削機用ドラムカッター



トピックス① 2018年12月 FMM会の発足

食品製造機械関連ビジネスの拡充

『F-MM会』(FOOD MAKER & MARUKA)

専門分野で優れた技術を有する食品機械メーカーとマルカキカイで構成

《目的》

- ・国内、海外での会員の商品販売拡大
- ・会員相互の情報交換及び新商品の共同開発

《会員企業》 11社

- ・自動包装機、充填機、冷凍機、温湿調整装置
- ・豆腐、製麺装置、蒸気炊飯器、各種洗浄装置

などの製造各社

トピックス② コーポレートガバナンスの強化

独立社外取締役の選任

《目的》

- ・持続的な成長と中長期的な企業価値向上
- ・独立した視点からの経営監視体制の強化

《概要》

独立社外取締役を現在の1名から3名に増員予定
(2019年2月21開催予定の定時株主総会で選任が承認されることを条件とする)



★2名以上、3分の1以上(7名中3名)の体制を確保
【C・Gコード原則4-8: 独立社外取締役の人数を2名以上、3分の1以上】

- 候補者
- ① 小谷和朗氏(現ナブテスコ(株) 取締役会長)
 - ② 長崎伸郎氏(現当社社外取締役)
 - ③ 頼金信次氏(現あいおいニッセイ同和損害保険(株)常務執行役員)

トピックス③ 商号・ロゴ変更について

2019年4月1日～商号変更いたします。

(2019年2月21日開催予定の定時株主総会で定款の一部変更が承認されること条件とする。)

トピックス③ 新商号・コーポレートスローガン

◆新商号 マルカキカイ株式会社



株式会社マルカ

(英文表記: **Maruka Corporation**)

◆コーポレートスローガン

Unique Solutions

トピックス③ 新ロゴマーク

◆ロゴマーク



Maruka
Unique Solutions

中期経営計画の修正

中期経営計画(2017/11期~2020/11期)の修正について

2020年11月期目標数値(売上高)を修正

《背景説明》

当社は、2017年11月期を初年度とする4ヵ年の中期経営計画を策定し、2017年1月13日に公表しておりますが、前期に2年前倒しで売上高目標をほぼ達成した為、今後の事業環境等を踏まえ、売上高目標を修正することといたしました。なお、中期経営計画で掲げたビジョン・重点戦略等に変更はありません

《数値目標》

	売上高(百万円)	営業利益(百万円)	営業利益率	海外売上高比率
18/11期	64,511	2,610	4.05%	44%



中期経営計画数値目標

	売上高(百万円)	営業利益(百万円)	営業利益率	海外売上高比率
20/11期(当初)	65,000	3,000	4.6%	60%
20/11期(修正)	70,000	3,000	4.3%	55%

中期経営計画の修正数値目標

単位：百万円

	18/11期 実績		19/11期 予想		20/11期 当初計画		20/11期 修正計画	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
売上高	64,511	100.0%	67,000	100.0%	65,000	100.0%	70,000	100.0%
産業機械	55,617	86.2%	58,160	86.8%	53,625	82.5%	60,277	86.1%
建設機械	8,825	13.7%	8,760	13.1%	11,310	17.4%	9,634	13.8%
その他	68	0.1%	80	0.1%	65	0.1%	89	0.1%
営業利益	2,610	—	2,700	—	3,000	—	3,000	—
営業利益率	4.0%	—	3.4%	—	4.6%	—	4.3%	—

株主還元

株主還元

配当方針及び配当金の推移

配当につきましては、安定配当を基本方針とし、財務体質の強化を図りながら、利益に見合った配当を行っていく予定です。総還元性向は40%を目指します(18/11期の総還元性向は35%の見込み)

1株当たり配当金及び配当性向の推移

2018年11月期は上場20周年記念として、一株当たり2円の記念配当を実施

	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期		19/11期 (予想)
					期初予想	18/11/20 修正予想	
中間配当	12円	15円	15円	17円	20円	20円	22円
期末配当	14円	20円	(※1) 22円 (記念2円)	23円	23円	(※2) 25円 (記念2円)	25円
年間配当	26円	35円	37円	40円	43円	45円	47円
配当性向	14.6%	17.9%	34.9%	27.7%	24.5%	19.8%	14.6%

(※1) 創立70周年記念配当2円を含む (※2) 上場20周年記念配当2円を含む

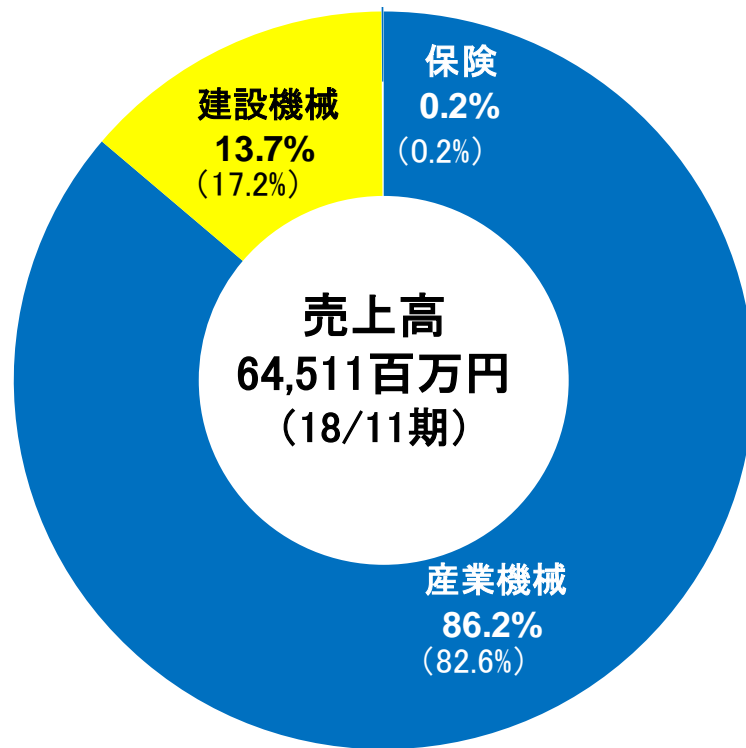
*2015年11月期に約4.5億円、2016年11月期に約1.8億円、2017年11月期に約1.9億円、2018年11月期に約2.8億円の自社株を取得

補足資料

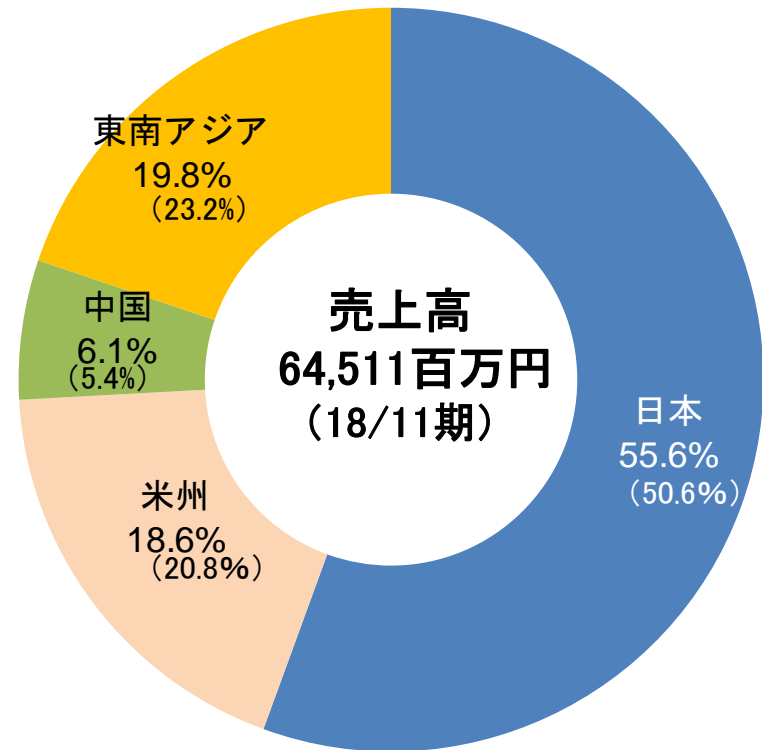
事業内容

日本・米国・中国・東南アジアで産業機械と建設機械の販売を行い、海外に進出する日系企業や現地企業との取引を拡大

部門別売上高構成



地域別売上高構成



※括弧内は17/11期売上高52,363百万円の構成比

※海外売上高には国内渡し海外仕向けを含む

産業機械部門 — 主な取扱い製品

生産工場の中で働く、物づくりに欠かすことのできない機械を販売

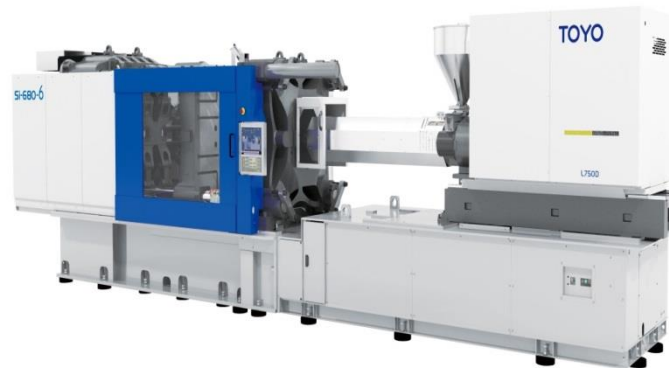
取扱い製品と主要取引メーカー

- ✓ 工作機械(東洋精機工業、村田機械、ジェイテクト、ツガミ、DMG森精機、OKK、ヤマザキマザック、牧野フライス、ファナック、中村留精密工業、高松機械製作所 等)
- ✓ 鍛圧機械(コマツ産機・ソノルカエンジニアリング)
- ✓ 射出成形機(東洋機械金属)



例①工作機械(マシニングセンタ)

金属を精密加工する機械です。自動車のエンジンや様々な部品を加工します。



例②プラスチック射出成形機

プラスチックの原料を溶かし、型に流し込み、圧力をかけて製品を作ります。CDや携帯電話等、プラスチック製品が作られます。



例③産業用多関節ロボット

ハンドリングロボットです。人間に代わり、製品の搬送溶接等を行います。

建設機械部門 — 主な取扱い製品

都市のインフラ整備に欠かすことのできない機械を販売・レンタル

取扱い製品と主要取引メーカー

- ✓ クレーン、ショベル(コベルコクレーン)
- ✓ 杭打機・圧入機(技研製作所)
- ✓ アースオーガー(三和機工)
- ✓ 発電機(デンヨー)
- ✓ 地盤改良機(ワイビーエム)



例①クローラクレーン

重量物の吊上や運搬を行います。



例②地盤改良機

住宅などの建築前に、地盤の改良を行います。



例③高所作業車

看板やディスプレイの取り付けの際に活躍します。

当社の強み① グローバルネットワーク1

国内に13か所、米州に11か所、中国に4か所、東南アジア・インドに8か所の営業拠点を配置し、グローバルなサービス体制を整備

米州



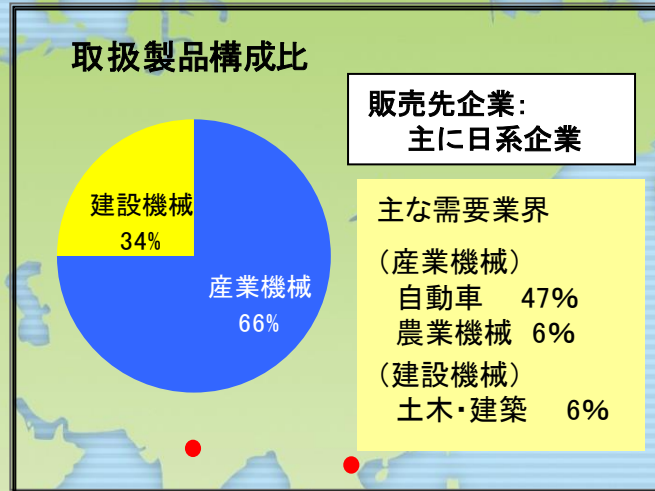
中国・東南アジア・インド



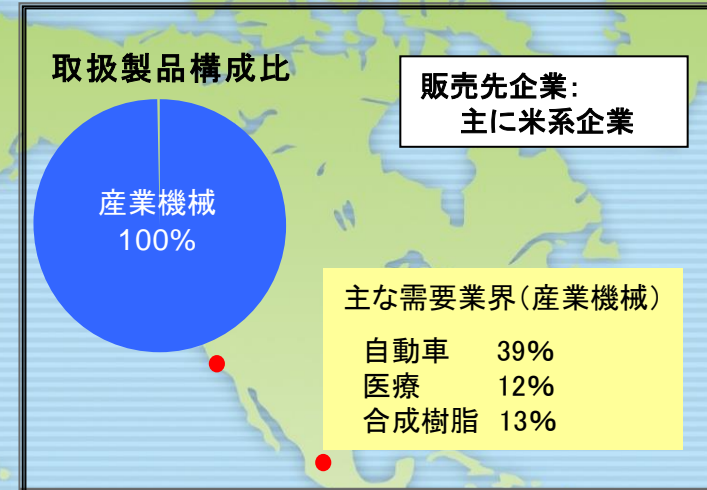
当社の強み① グローバルネットワーク2

日本・中国・東南アジアでは日系企業、北米では米系企業を主な販売先とし、世界4極で特徴のあるビジネススタイルを確立

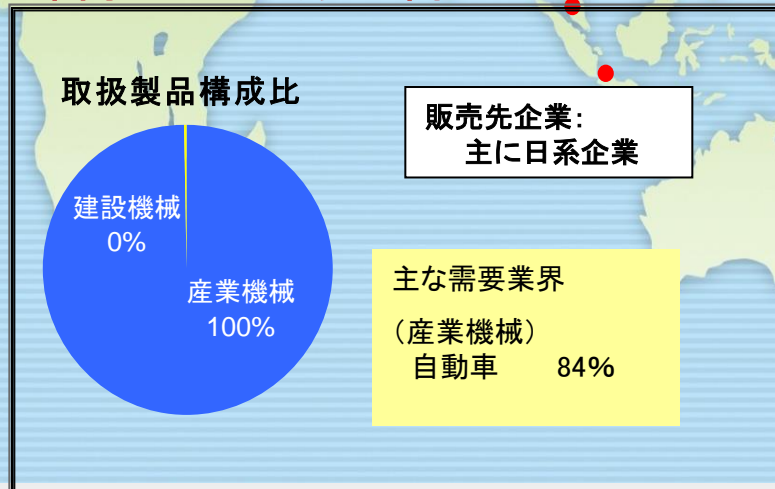
日本国内向け売上高



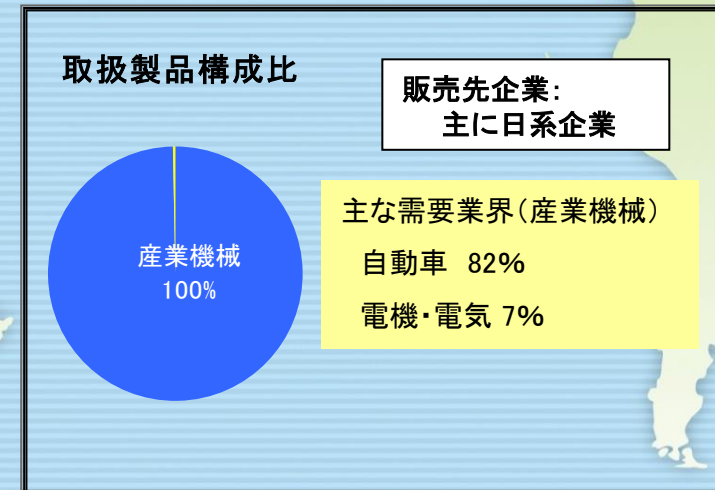
米州向け売上高



東南アジア向け売上高



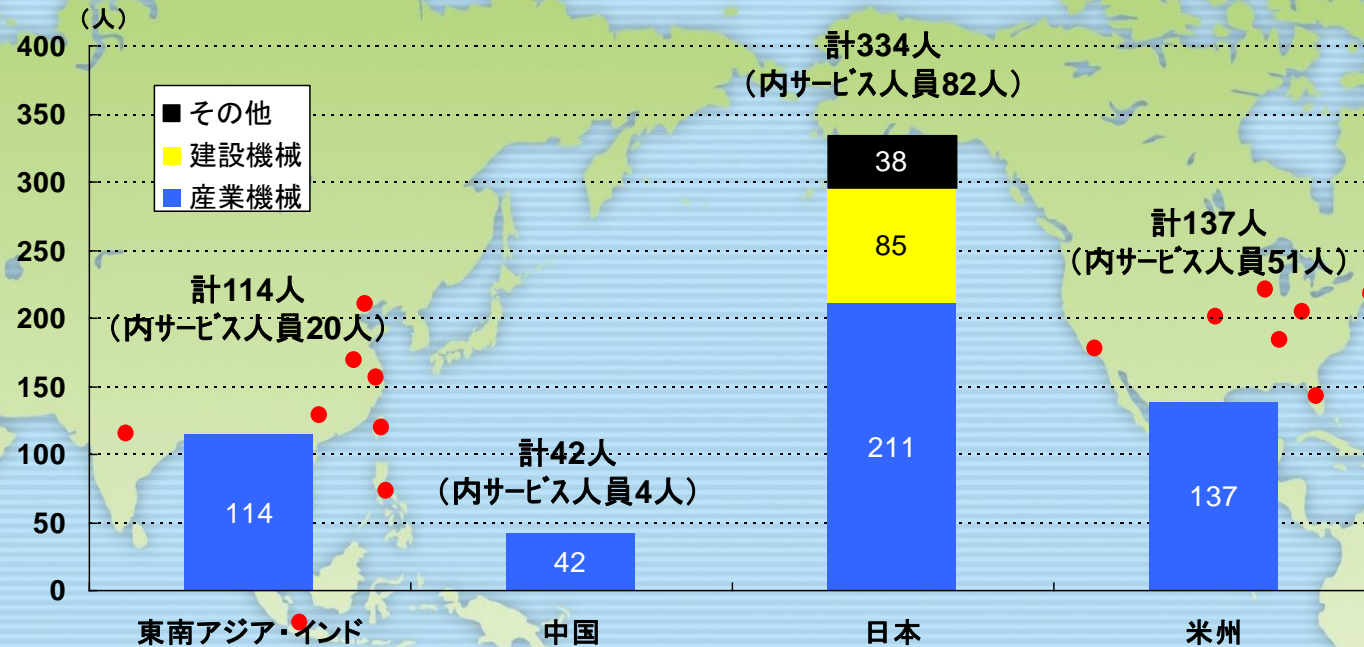
中国向け売上高



当社の強み① グローバルネットワーク3

- 世界4極に627人を配置し、機械の販売及び部品・消耗品・サービスの取扱いを拡大
- サービス人員の育成に注力し、全体の約1/4となる157人体制を構築

地域別の従業員数



全地域 合計	機械		合計 (その他含む)	内 サービス人員
	産業機械	建設機械		
	504人	85人	627人	157人

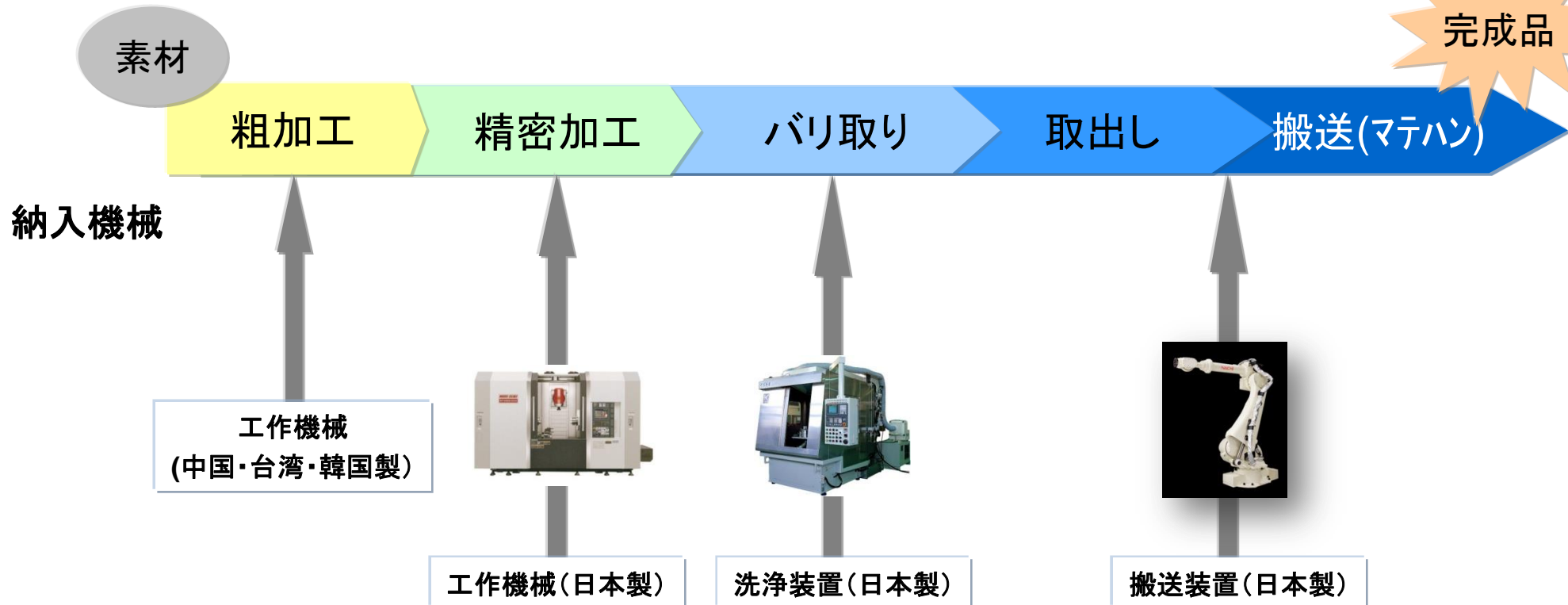
※ 2018年11月30日時点

当社の強み② 提案型システム営業

- お客様のニーズに合った、省力化省人化の工場システムを提案
ライン一括受注を目指し、付加価値の高いシステムを構築

《提案イメージ》

お客様の生産ライン



当社の強み② 提案型システム営業-MM会

MM(マルカ・メーカー)会

機械専門商社であるマルカキカイと専門分野で優秀な技術を有するメーカーが協力し、販売ならびに新商品の共同開発を目的として発足。「お客様のニーズ」と「メーカーの技術」それに「マルカの持つ情報・知識」この3者の密接な連携によるシステムの構築が、当社の提案型営業を支える柱の一つとなっています

2018年11月末日現在の会員メーカー数は、26社となっています

株式会社 大 鑄	ショットブラストマシン(ジクストリッパー)、各種研掃材	大阪府高槻市
大 峰 工 業 株式会社	チップコンベア、ノンタッチシステム、ツイン200	大阪市北区
株式会社 光 栄 製 作 所	油圧プレス、誘導加熱システム	兵庫県宝塚市
先 生 精 機 株式会社	プログラムレス自動面取機、バリ取専用機、3Dインラインチェッカー	静岡県清水市
株式会社 コ ス モ テ ッ ク	プレス修理	名古屋市緑区
千 代 田 工 業 株式会社	パイプベンダー、パイプ自動加工機、FA省力機器	大阪市淀川区
株式会社 ユ ー テ ッ ク	各種生産システムの設計製造、各種検査機の設計製造	大分県臼杵市
三 愛 エ コ シ ス テ ム 株式会社	産業廃棄物適正処理システム・処理機器の設計製造販売	神奈川県厚木市
株式会社 紀 和 マ シ ナ リ ー	工作機械の製造販売	三重県名張市
高 橋 金 属 株式会社	各種非標準洗浄装置製造、電解イオン水生成装置製造	滋賀県長浜市
株式会社 富 士 精 機 販 売	油圧単能盤・NC旋盤・単能盤NC旋盤をベースにした専用機・穴明専用機の設計製作、自社設備用の自動化、搬送装置検査装置等の販売	愛知県小牧市
株式会社 大 進 工 業 研 究 所	自動ろう付機・ろう付補助材料の製造販売、耐蝕耐熱耐摩耗金属による盛金精密鑄造品加工	大阪市大正区

(次頁に続く)

ターケット・エンジニアリング(株)	各種自動化設備の設計製造	京都市伏見区
電元社トーア(株)	各種抵抗溶接機・特殊専用機・治具・省力化機器の製造販売	神奈川県川崎市
(株)ワイエムジー	オートローダー装置、ロボットシステム装置、自動化装置設計・販売	愛知県豊橋市
(株)松井製作所	プラスチック成形用合理化機器・システムの製造販売	東京都品川区
丸昭機械(株)	各種線材加工用機械、各種工作機械、専用治工具・省力自動機械、各種試験機・設計製作	大阪市平野区
(株)ハル技研研究所	金属工作機械製造	岡山県岡山市
(株)ニチゾウテック九州事業部	エンジニアリング、技術コンサルティング、メンテナンスの3つの事業領域を連携させた総合技術サービス	熊本県玉名郡
(株)テクノス	自動化システムの製作	群馬県伊勢崎市
(株)ユニ技研	部品供給装置、搬送装置、検査装置、計測装置、各種機械設計、製作	愛知県豊橋市
ダイセイ(株)	精密測定機器製造販売、工作機械製造販売	大阪府池田市
(株)プラス機工エンジニアリング	各種農産物選別機械製造販売、各種農産物洗浄機製造販売、搬送機械、製函機、封函機、製造販売	愛媛県松山市
(株)アースシステム21	豆腐製造機械・製麺製造機械の設計、製造、販売	岡山県岡山市
ソノルカエンジニアリング(株)	コイルラインシステム、シャーライン、NCTランスファー、冷却システム	大阪府摂津市
(株)管製作所	CNC高圧洗浄機、専用工作機械	山形県天童市

タイMM会 12社

CHIYODA KOGYO	チューブ及びパイプベンダー
COSMO	プレス修理、オーバーホール
DENYO ASIA	溶接ケーブル、溶接機、サーボガン
EUREKA DESIGN	洗浄機、リークテスター、専用機
KANTO ENGINEERING	産業用メンテナンス
DENGENSHA	各種抵抗溶接機製造・販売

NISSEN KOHKI	洗浄機、エアリークテスター
ROBOT SYSTEM	パレタイジング・溶接・搬送ロボット
SORIME	機械設計・製造、機械電装設計
TAKAHASHI METAL INDUSTRIES	洗浄機、乾燥機、治具、溶接部品
THAI TAKIGAMI	FA電装設計、溶接機、溶接治具
TOCHU	ショットブラスト装置、水平コンペア

海外売上高・商品別売上高(連結)

海外売上高(国内売り・海外仕向含む)

(単位:百万円)		17/11期	18/11期	前期比%
米	州	10,916	11,978	9.7
中	国	2,840	3,909	37.6
ア ジ ア	タイ	2,770	2,093	△ 24.5
	インドネシア	1,916	1,404	△ 26.7
	マレーシア	5,403	6,538	21.0
	フィリピン	406	1,034	154.2
	インド	730	442	△ 39.4
	ベトナム	833	1,145	37.4
	シンガポール	32	112	250.5
	韓国	55	0	△ 99.6
	その他アジア	3	0	△ 93.7
	アジア計	12,153	12,771	5.1
その他	0	15	-	
合計	25,910	28,674	10.7	

商品別売上高

(単位:百万円)

		17/11期		18/11期		前期比%
		売上高	構成%	売上高	構成%	
産 業 機 械	工作機械	14,646	28.0	18,837	29.2	28.6
	鍛圧機械	4,633	8.8	4,685	7.3	1.1
	射出成形機	5,093	9.7	6,735	10.4	32.2
	ロボット物流機械	924	1.8	3,533	5.5	282.1
	環境設備	2,805	5.4	3,859	6.0	37.6
	産業機械	4,223	8.1	4,378	6.8	3.7
	食品機械	278	0.5	159	0.2	△ 42.5
	工具軸受油圧	2,122	4.1	3,149	4.9	48.4
	産機部品	5,005	9.6	6,048	9.4	20.8
	産機その他	3,497	6.7	4,228	6.6	20.9
産業機械計	43,231	82.6	55,617	86.2	28.7	
建 設 機 械	油圧ショベル	122	0.2	47	0.1	△ 61.4
	建設用クレーン	3,195	6.1	3,725	5.8	16.6
	基礎機械	2,341	4.5	1,493	2.3	△ 36.2
	その他建機	561	1.1	574	0.9	2.3
	中古機械	1,262	2.4	1,222	1.9	△ 3.2
	建機レンタル	1,522	2.9	1,683	2.6	10.6
	環境設備	20	0.0	7	0.0	△ 63.8
	トラクター	-	-	72	0.1	---
	建設機械計	9,026	17.2	8,825	13.7	△ 2.2
	保険・その他	106	0.2	68	0.1	△ 35.5

業界別売上高(連結)

(単位:百万円)

業	産	17/11期		18/11期		前期比%
		売上高	構成%	売上高	構成%	
業	自動車二輪	27,554	52.6	35,521	55.1	28.9
	農業機械	1,151	2.2	2,321	3.6	101.6
	電気電機	1,305	2.5	1,113	1.7	△ 14.8
	建設機械	284	0.5	277	0.4	△ 2.5
	工作機械	950	1.8	1,905	3.0	100.5
	その他機械製造	3,751	7.2	5,075	7.9	35.3
	精密医療機器	1,305	2.5	2,206	3.4	68.9
	IT関連	298	0.6	263	0.4	△ 11.6
	食料品	392	0.8	231	0.4	△ 41.2
	鋼製家具	241	0.5	70	0.1	△ 70.9
	合成樹脂	2,335	4.5	2,196	3.4	△ 5.9
	プラント加工機	-	-	-	-	-
	機	繊維機械	35	0.1	28	0.0
防衛		256	0.5	205	0.3	△ 19.9
エネルギー・化学		84	0.2	99	0.2	18.4
住宅建材		20	0.0	-	-	△ 100.0
リース		18	0.0	117	0.2	555.5
商社		29	0.1	139	0.2	370.0
造船		2	0.0	6	0.0	152.9
鉄道運輸		115	0.2	261	0.4	125.5
航空機		347	0.7	517	0.8	48.9
その他		2,759	5.1	3,067	4.7	11.3
計		43,231	82.6	55,617	86.2	28.7

(単位:百万円)

業	産	17/11期		18/11期		前期比%		
		売上高	構成%	売上高	構成%			
業	建設	ゼネコン業者	115	0.2	185	0.3	60.3	
	建設	物流	624	1.2	636	1.0	1.9	
	建設	基礎	2,795	5.3	1,367	2.1	△ 51.1	
	建設	チャーター	676	1.3	1,667	2.6	146.4	
	建設	土木・建築	2,060	3.9	2,058	3.2	△ 0.1	
	機	機械	商社	352	0.7	446	0.7	26.8
		機械	レンタル	878	1.7	1,104	1.7	25.6
		機械	広告	230	0.4	229	0.4	△ 0.3
		機械	その他	1,290	2.5	1,129	1.8	△ 12.5
		機械	建設機械計	9,026	17.2	8,825	13.7	△ 2.2
	計	保険・その他	106	0.2	68	0.1	△ 35.5	
	合計	計	52,363	100.0	64,511	100.0	23.2	

注意事項

本資料中の予想は、決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は今後種々の要因によって異なる結果となる可能性があります。